



従業員健康で事業所が変わる

中小企業の 健康経営®事例集



※「健康経営®」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。



全国健康保険協会 三重支部
協会けんぽ

株式会社 四日市事務機センター

企業のご紹介

業種 情報通信業
設立 昭和49年
従業員数 36人

取り組み1 感染症予防対策

脱インフル計画・ 脱ピロリ菌計画を実施

インフルエンザの予防接種を毎年社内で行うことで感染件数を0件にする「脱インフル計画」を実施しており、家族も会社負担で受けられます。また、胃癌のリスクを軽減する「脱ピロリ菌計画」では、入社した従業員全員にピロリ菌検査を実施することでがんへの健康意識を高めています。こちらも家族全員に実施しています。

予防接種は未実施数0件、2018年感染件数0件を達成しました。社内で実施することで従業員の家族が来社するので、子供たちの成長を見ることが出来ます。ピロリ菌についても、従業員への感染は見られません。



▲社員の家族も社内で行う予防接種

取り組みを始めたきっかけ 10年間勤続していた従業員が、奥様の病気が原因で退職したことがありました。その時弊社に柔軟に対応する制度や文化があれば、今でも一緒に働けたのではないかと感じたことがきっかけで、様々な制度を導入しました。

取り組み2 職場の活性化

クラウドシステムによる 感謝カードを導入

クラウドシステムによる感謝カード「GOLDRush」を導入し、従業員同士のコミュニケーション向上を図りました。毎月1,260円を電子マネーで従業員に支給し、メッセージを投稿すると「スマイルトーク」というメールが配信されるシステムです。1回の投稿は126円までとなっており、半年毎に賞与にて支給することで弊社のピアボナナス制度への取り組みともなっています。

上司が部下の頑張りを売上の数字以外で把握できるようになりました。過去の投稿が確認できるので、モチベーションも高まります。助け合いが連鎖するのでチームワーク向上の一助にもつながっています。

事業所からのメッセージ

弊社にはTFS (Team Family Satisfaction) という制度があり、大きく3つのプロジェクトに分かれています。その1つに「家族安心・健康支援プロジェクト」があるため、健康への意識は非常に高くなっていると思います。